学校名 [寺岡小学校]

氏名 [淀縄 ゆかり]

[小] **学校** [4・5・6] 30 年版 単元名 [震災を語りつぐ] P8~9

教科·領域名 [学校行事] [**時間** 45**分**]

主な学習活動 (実際に行った活動) 指導の実際

ねらい

震災を忘れず活動している人々の思いを知 り、自分には何ができるか考えることができる ようにする。

- 1 避難訓練を振り返る。
 - ・自分の避難の仕方はどうだったか
 - ・下級生など周りの様子はどうだったか
- 2 命を守るためにもっとできることはないか話し 合おう。
 - ・年下の子に声を掛ける ・水くみの手伝いをする
 - ・防災リュックを用意しておく
 - 防災マップを作る・危ない場所を確認する
- 3 防災副読本を見て、震災を語り継ぐ活動をしてい ○震災時の記憶がない児童がほとんどなので、 る人々について知る。
- 4 人々の思いについて話し合う。

どんな思いで語り継ぐ活動を続け

ているのだろうか

- ・忘れてはいけないと思うから
- ・自分の経験を未来に生かしてほしいから
- ・亡くなった人の思いを大切にしてほしいから
- 5 NHK for School クリップ「震災(しんさい)を 語り継(つ)ぐ校舎(こうしゃ)~仙台(せんだい) 市立荒浜(あらはま)小学校~」を視聴する。
- 6 感想を発表し、学習のまとめをする。
 - ・これから大人になる自分たちが、過去の体験を未 来に伝えていかなくてはならない
 - 伝えるために知ることから始めたい

【準備物】

・防災副読本 ・テレビ ・パソコン

【時期】

- ・休み時間を想定した避難訓練終了後(9月)
- ○「おうた」の約束や「おはしも」の約束を確 認する
- ○児童の意見を内容ごとに分けていく。
 - ①事前にできること
 - ②災害の時にできること

災害の後にできることは何かないか問いかけ、 次の活動につなげる

- わかりにくいものについては教師が説明する。
- ○時間をしっかりとって,グループごとに話し 合わせる。
- ○出た意見を発表し、全体で共有する。



荒浜小学校の映像を真剣に視聴する児童の様子